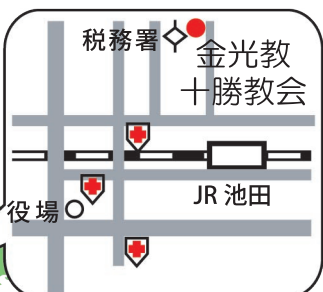


No.72, 2017, Jan.,

1 月・平成 29 年新年号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213

Facebook 「金光教十勝教会」

金光教十勝教会
〒083-0001
池田町旭町 1-9<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

十勝教会 だより 72



facebook



HP(PC 専用)

平成二十九年、教会創立九十七年の年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。昨年は三代教会長の帰幽、台風の連続襲来、水害などがあり教会だけではなくみな様にとつても印象に残る年だったと思います。果たして今年はどんな一年



大晦日、元日だけが特別な日ではありません。太陽は毎日休むことなく昇り暮れてゆきます。毎日を元日だといただいて、日々あらたまり、楽しく過ごさせてもらいましょう。

平成二十九年を迎えて

金光教十勝教会

になるのでしょうか。



今年は酉年ですが、昔々、ある酉年のこと、教祖生神金光大神様に特別なことが起こりました。

教祖様は文化十一年（一八一四年）生まれですので干支は戌（いぬ）です。

しかし、明治六年三月十三日（旧暦の二月十五日）、教祖様五十九歳（数え六十歳）の時に天地金乃神様から「金光、生まれ変わり」とのお知らせを受けられます。教祖様はこの御神命を受けて「生まれ日改め」とされ、その日から酉年一歳と新たに年齢を数えられるようになっていました。

神様が教祖様に生まれ変わりを申しつけられたいきさつにつ

いては「教典」や「金光大神」をお読みいただくとして、今年には教祖様が「生まれ変わられて」から一四四年、十二巡目の酉年（とり）なのです。

○

さらに明治六年、生まれ変わりの神命をいただいた三日後の三月十五日、神様が教祖様に対し「天地金乃神 生神金光大神 一心に願（ねがえ） おかげは和賀心（わがこころ）にあり」という書付（かきつけ）をするようにお知らせをされます。そして四月二日には、

生神金光大神

天地金乃神 一心に願（ねがえ）

おかげは和賀心（わがこころ）にあり

今月今日でたのめい

という書付（かきつけ）を書きためるように

というお知らせがあり、これが後に信者に授けられるようになり、今では「天地書附（てんちしかきつけ）」と呼ばれ、私たちの信心の要（かなめ）となっています。

そして、同じく十月十日には神様から「御神伝（ごしんでん）」と呼ばれるお知らせがあり、難儀な氏子（うぢこ）を助け、氏子ありての神、神ありての氏子という本来の神と人のあり方を願う天地金乃神様、その願いを実現するため御取次に差し向けられた教祖様の役割が明らかになりました。

このように、明治六年の酉年（とり）は教祖様だけではなく、その信心をいただく私たちにとっても大事な年なのでした。

○

明治六年という年にはこれら

以外にも様々な出来事がありました。その中には次のような神様からのお知らせがありました。

「何事もみな天地金乃神の差（さ）し向け、び・つ・く・り・ということがあるぞ」

私たちは神様の分霊（わけみたま）、天地の

いのちをお預かりし、天地の中に生かされています。その天地のお働きを調べ（す）統（す）べられるのが天地金乃神様です。私たちの毎日の暮らしは目に見える見えないを問わず、天地の働き、人のいのちを通じた神様のお働きに支えられています。私たちの暮らしは全て、神様のご都合の中でのこと、まず神様、天地のご都合ありきであります。



今冬は早々に雪が積もり、寒い日が続きます。教会の掲示板も毎朝凍り付いています。

その神様のご都合の中で暮らす我々ですが、去年の台風災害を例に出すまでもなく、お天気をはじめ、神様（天地）のご都合が必ずしも自分にとって都合のよいこととなるとは限りません。また、どんなに自分の都合を願ってもそれが神様のご都合にかなわないということもあるでしょう。しかし、自分の思い描

いていた結果にならなかったとしても後で考えてみるとそれでよかったということもあります。何事も神様のご都合の中でのことであり、自分の思い通りにはならないということです。神様のご都合でされることが私たちにとってはビックリということでもあるのです。



「天地のことは人の力に及びません。神信心は何事も辛抱（しんぼう）することが一番大切です」

とは三代金光様のお言葉ですが、信心する者は、何事も神様のご都合でなされること、何事も自分の都合のいいように、自分の思い通りにはならないことと戒（いまし）め、神様のご都合に任せ、ご時（とき）

節を待つという気持ちが大切なのではないでしょうか。

何事も神様に心を向けお願いをしてさせていただけば、神様がそれを無視するということはありません。願いが叶わないと嘆くのではなく、それはまだ神様のご都合にあわないだけで、神様のご都合の中でのご時節（ときじょう）を待たせていただけるようにならせていただきます。

今年一年、一日一日、神様、天地のご都合の成就を願い、そのご都合の中で私たちも神様のご時節（ときじょう）におとりたていただくよう信心を進めていきたいと思います。

＊平成二十九年

教会創立 九十七年

教祖 百三十四年

立教 百五十八年

教会 日 誌

平成 28 年 11 月から 12 月まで

11 月 3 日 北見教会大祭、交流参拝。

11 月 3 日 夕張教会大祭・二代教会長十五年祭、
教会長祭主、教話奉仕。

11 月 6 日 帯広教会大祭、交流参拝。

11 月 13 日 大祭前大掃除、大祭打ち合わせ。

11 月 13 日 函館教会大祭、教会長参列。

11 月 18 日 大祭前御用奉仕、19 日まで。

11 月 20 日 生神金光大神大祭。教会長就任を祝
う会。

11 月 23 日 釧路市、O 家、式年祭。

12 月 11 日 本部、布教功労者報徳祭。三代教会
長奉斎される。千鶴子先生参拝。

12 月 31 日 越年感謝祭。

写真

平成 28 年生神金光大神大祭



写真
平成 28 年生神金光大神大祭



教会長挨拶
信徒会長挨拶



教話・網走教会長



写真 教会長就任を祝う会（次頁も）





平成 29 年十勝教会 主な祭典日程

◆月 例 祭 毎月 1 日、10 日、21 日 13 時 30 分

- ・春 季 霊 祭 3 月 20 日 (祝) 13 時 30 分
- ・勸 学 祭 4 月 1 日 (土) 13 時 30 分
- ・天地金乃神大祭 4 月 16 日 (日) 11 時
- ・上半期感謝祭 6 月 25 日 (日) 13 時 30 分
- ・教会創立記念祭、三代教会長一年祭 8 月 20 日 (日) 13 時 30 分
- ・秋 季 霊 祭 9 月 23 日 (祝) 13 時 30 分
- ・生神金光大神大祭 11 月 19 日 (日) 11 時
- ・越年感謝祭 12 月 31 日 (日) 13 時 30 分

○薫 別 講 社

- ・月 例 祭 毎月 5 日 11 時
- ・年頭祭ならびに 28 年度生神金光大神大祭 1 月 5 日 (木) 11 時
- ・天地金乃神大祭 4 月 5 日 (水) 11 時
- ・生神金光大神大祭 12 月 5 日 (火) 11 時

☆信徒会総会・教会新年会 2 月 5 日 (日) 11 時

☆大祭前大掃除 4 月 9 日 (日)、11 月 11 日 (日) 10 時

☆境内清掃 6 月 3 日 (土)、7 月 1 日 (土) 10 時

平成 29 年関係教会大祭日程

		春	秋			春	秋
釧 路	5 月 28 日	10 月 29 日		北 見	5 月 3 日	11 月 3 日	
帯 広	4 月 23 日	11 月 5 日		網 走	5 月 21 日	10 月 22 日	
滝 上	未 定	10 月 4 日					
夕 張	4 月 29 日	11 月 3 日		函 館	5 月 13 日	11 月 13 日	